

重粒子線治療

— がん治療の新たな選択肢 —

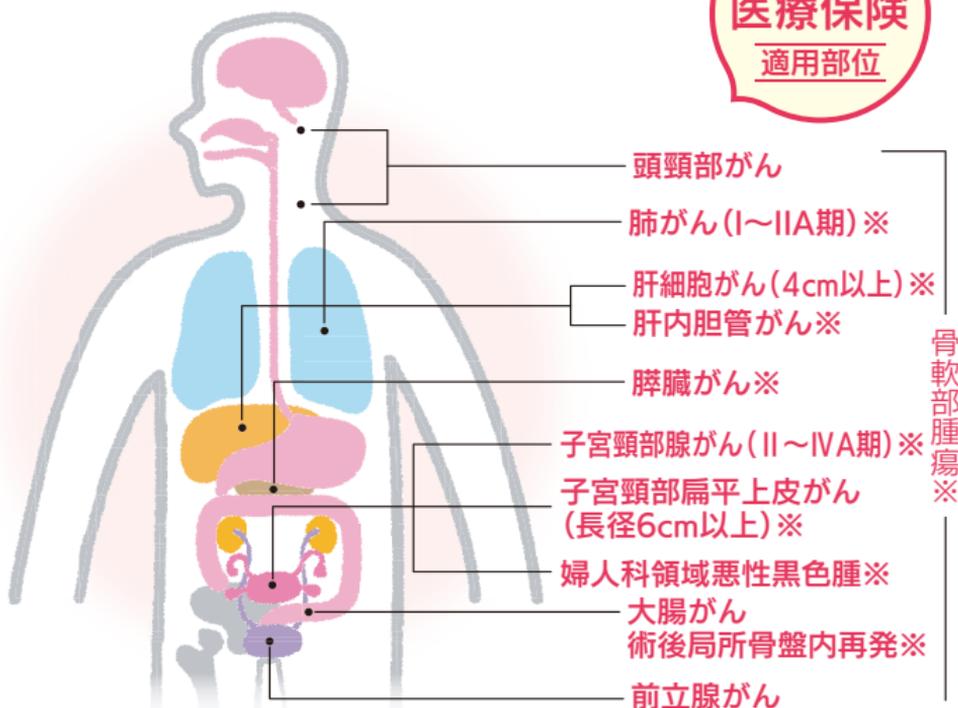
山形大学医学部
東日本重粒子センター



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属病院

対象となるがんと治療費

公的
医療保険
適用部位

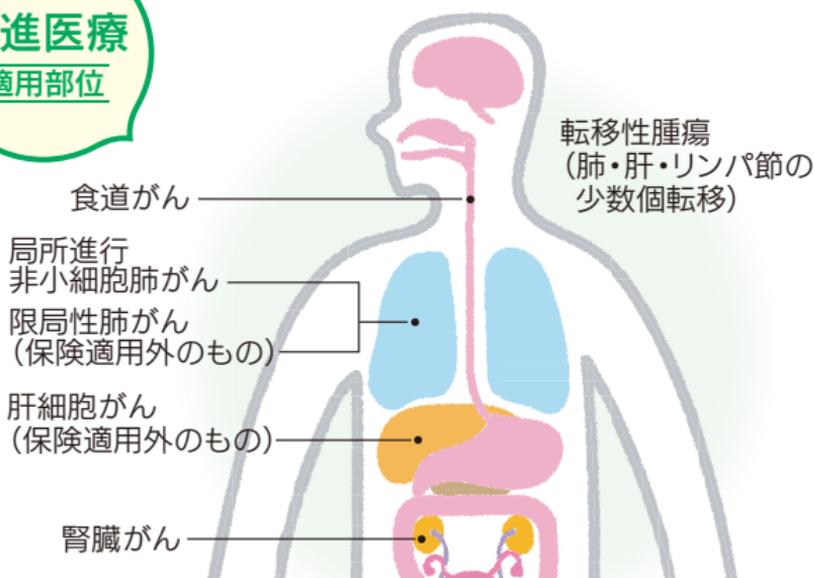


※手術による根治的な治療法が困難であるものに限る

公的医療保険の治療費は、高額療養費制度を適用できることから、実際のご負担額は、収入と年齢によって決まる月ごとの自己負担上限額となります。

年収の目安	実質自己負担額の目安
住民税非課税	8,000円~35,400円
約370万円以下	18,000円~57,600円
約370万円 ~ 約770万円	約95,000~
約770万円~約1,160万円	約180,000円~
約1,160万円以上	約270,000円~

先進医療
適用部位

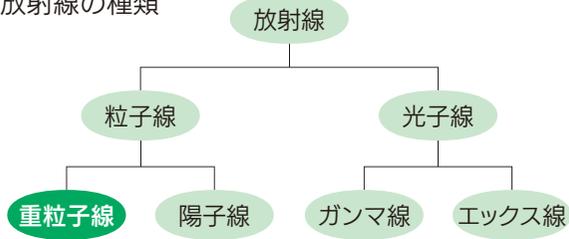


先進医療適用の場合、照射費用約314万円※は患者さん負担となりますが、加入されている民間の医療保険やがん保険の契約内容によって補償される場合があります。
 ※ほかに診療・検査・投薬など(保険診療)の費用がかかります。

『重粒子線治療』とは

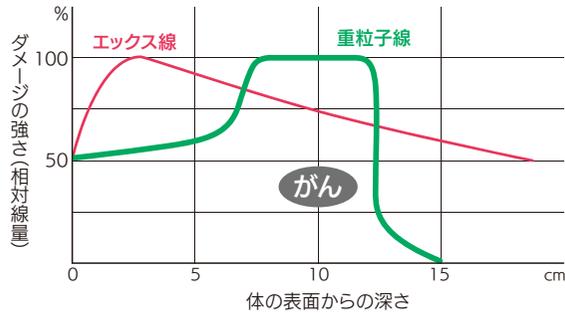
放射線治療の一種です。通常、X線という放射線が使われますが、重粒子線治療は炭素イオンをがんに照射する治療です。

●放射線の種類



●重粒子線とX線の線量分布の比較

(一つの方向から照射した場合)



※量子科学技術研究開発機構HPより改編

重粒子線はがんに集中してダメージを与えて止まるため、正常臓器への影響を少なくできます。

山形大学医学部
東日本重粒子センターは、
世界初の
総合病院接続型の治療施設です。
持病のある方もケアを受けながら治療を受けることができます。

『重粒子線治療』を

お勧めする 3 つの理由

1 効き目が強い

他の放射線に比べ破壊力が強く、今まで効きにくいとされてきた骨肉腫などにも効果を発揮します。

2 正常臓器への負担軽減

がんに集中的に照射が可能で、周りの正常臓器にはダメージが少ない治療です。

3 短期間で治療できる

他の放射線と比べ、重粒子線照射回数が少なく、概ね半分以下の短い期間で治療できます。

重粒子線とX線の照射範囲の違い



重粒子線のほうが他の放射線より正常範囲に当たらずがんに集中しています。

※すべての照射が完了した際の照射影響範囲イラストは前立腺がんの場合のイメージです。

照射治療エリア

固定照射室



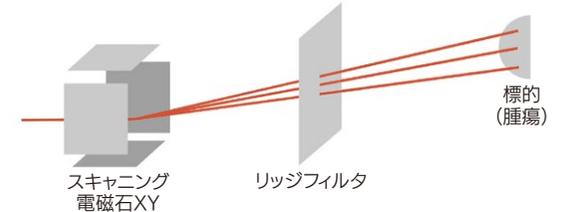
水平方向からのビームで主に前立腺がんの治療を行います。

回転ガントリー照射室



世界3台目となる重粒子線回転ガントリー照射装置です。360度あらゆる角度から治療部位にピンポイントで重粒子線を照射しますので、患者さんは楽な姿勢のままで治療を受けていただけます。

3Dペンシルビームスキャンニング法 (高速スキャンニング照射)



両室共に国内5台目の3Dペンシルビームスキャンニング法を採用し、標的とする腫瘍の形状に合わせて塗りつぶすように細い重粒子線を照射します。線量分布に優れ、治療期間中の腫瘍形状の変化にも対応しやすい照射法です。

アクセス

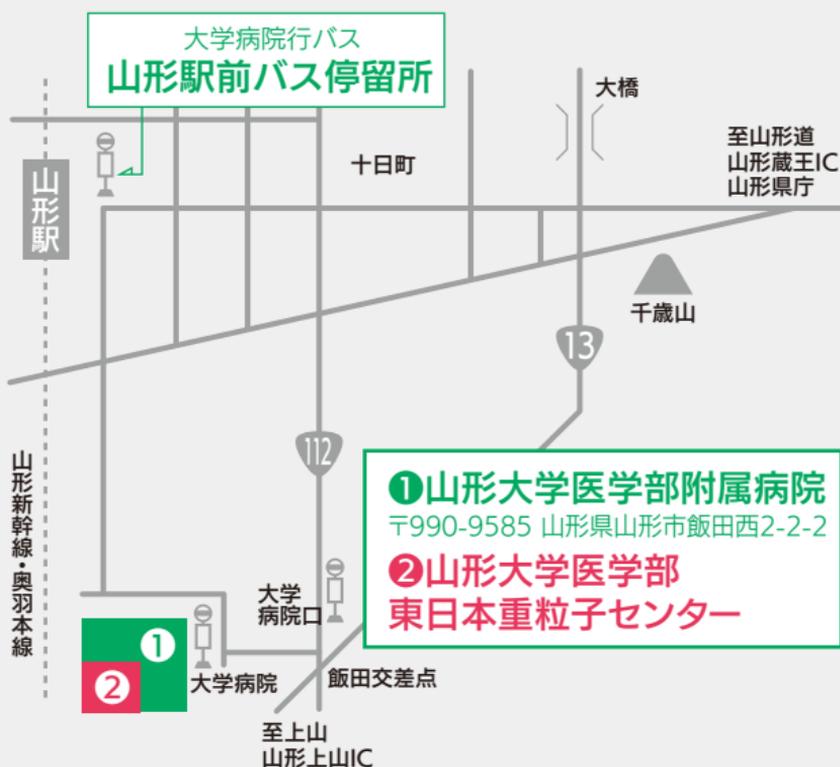
●タクシー

JR山形駅から約10分

●バス

仙台駅前から上山行き高速バス(山交バス・宮城交通)23番乗り場乗車、大学病院口下車(約75分)

山形駅前から大学病院・東海大山形高行きバス(山交バス)乗車、大学病院下車(約15分)



お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務室

TEL **023-628-5404**

受付時間9:00~17:00(土日祝日を除く)

東日本重粒子センター

検索



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
〒990-9585 山形県山形市飯田西2-2-2
山形大学医学部附属病院



GREEN PRINTING JFPI
P-810196
この印刷製品は、環境に配慮した
原料と工場で製造されています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C170021